

ニリドラDRA-014

●問い合わせ先 安心マネジメント ☎03-5710-4556 <http://www.as-management.jp/> 税込価格=5万5440円(※公式サイトで値引き販売中)



2か所の映像と位置情報を 常時記録する新アイテムだ

ドライブレコーダーと言えば、事故の前後数秒間の映像などを記録し、状況を客観的に把握する装置のことだが、このニリドラはスイッチを入れた瞬間から常時録画するので、旅の思い出を残すのにも非常に適したアイテムだ。

このニリドラ、各モジュールが別体となっているため、本体をシート下など濡れにくい場所に設置しやすいのが大きなポイントだ。カメラは2つあり、テストではヘッドライトとシートカウルの前後2か所に取り付けたが、例えばスイングアームにレンズを向けてリヤサスの動きを見たり、シフトチェンジの様子を眺める、なんて使い方もアリだ。このほかにもGPSモジュールによる位置情報や、本体に内蔵されたGセンサーによる加速度データ、小型のマイク(オプショナル)による音声データも同時に記録できるのがうれしい。

カメラのレンズは画角が160度と超広角のため、両端はかなり歪みやすいが、風景を広く撮影したいという人には好都合だろう。映像は暗い場所でも鮮明で、色味なども自然だ。映像(および音声)はMP4形式で保存されるので、これに対応したソフトであれば基本的に再生可能だ。そして、その一歩上の楽しみ方をしたいのなら、同梱のCFカードに収録されているCEOプレーヤーをDLしてほしい。このソフトは映像と同時に加速度データを再生、さらに環境が整っていれば、インターネット地図で軌跡も表示するという優れたものだ。各種データは、車両のイグニッションキーをオンにした時点から記録され(電源スイッチの増設も可能)、32GBのCFカードを用意すれば、最大で48時間も収録できてしまう。なお、データ容量が90%に達すると、古いファイルを順次上書きすると、古いファイルを順次上書きする仕組みなので注意。

ツーリングだけでなくサーキット走行でも活躍しそうな最新デジタルアイテム。ぜひ使いこなしてくれ。

■ テスターの採点 (10点満点)

	評価	コメント
装着時のスマートさ	9	オールインワンボディのドライブレコーダーは、取り付け場所が制限されやすく、さらにハンドルやメーター周辺が煩雑になりがち。一方、ニリドラは配線のレイアウトなど取り付けにかなりの時間と工夫を要するが、露出を最小限に抑えられるので非常にスマート。
楽しさ	10	自分が走っている際の映像を、帰ってから視聴するのはけっこう楽しいもの。それに位置データまで加わるのだから、あの風景はどこだった? なんてことにはならない。本体にはAVアウト(NTSC)出力端子があるので、AVイン端子のあるナビならモニター出力可能だ。
安心感	9	事故で万が一バッテリーからの電力供給が遮断されても、バックアップ電源によって3秒間はデータを記録し続ける。また、超広角レンズは側方からの飛び出しもしっかり映してくれるだろう。なお、急加速や急減速の様子まで残されるので、くれぐれも安全運転を。
コストパフォーマンス	8	通常販売価格は5万5440円だが、今なら安心マネジメントのサイトで送料・代引き手数料込み4万1799円で購入可能だ。ドライブレコーダーは、事故の時にしか活躍しないというイメージが強いが、このニリドラは使い方次第でバイクライフを一層充実させてくれる。

10=最高 9=とてもよい 8=かなりよい 7=よい 6=ややよい 5=普通 4=やや悪い 3=悪い 2=とても悪い 1=最低



← 本体サイズは120×80×25mmで、入力電圧は12V/36Vに対応している。その隣にある一回り小さな黒い箱がGPSモジュールだ。



→ LEDインジケータも防水仕様なので、メーターの妨げにならないよう見やすい位置に取り付ける。アラームによる警告機能も。



↑ 上は一般的な動画プレーヤーで再生した例で、2つのカメラモジュールの映像が同時に記録される。同梱のCFカードに収録されているCEOプレーヤーで再生すれば、加速度データや位置データも同時にチェックできるので、よりニリドラらしい使い方が可能に。カメラは防水仕様なので、直接水滴が当たるようなところへの設置も可能だ。